

## 第3回ウェルビーイング推進本部会議

日時：令和6年11月18日（月） 15時から17時まで

場所：市役所 北棟集会室

内容：取り組みの報告、ワールドカフェ方式でのワーク

横浜市立大学西井正造助教にオブザーバーとしてご参加いただきました。

(写真)本部員全員(代理出席含む)で『私のイネーブリングシティ宣言書』を持ち記念撮影



### ウェルビーイング推進本部長

#### (蒲郡市長)のあいさつ

今回は1回目、2回目のようなZOOMを利用したWEBでの会議でなく、顔と顔を合わせたディスカッション形式の実施を私から提案し、対面会議とした。WEBでの会議でも今回のようなリアルでの会議でもやることは同じだが、この会場の雰囲気や、開始前の

音楽なども含めて素晴らしい環境を感じながら議論することでリラックスしながら様々な議論が交わせるのではないかと期待している。本部委員の皆さんの屈託のない意見をもとに蒲郡市のイネーブリングシティの形成に1歩ずつ近づけていければと思っている。今日ご参加いただいている西井先生にもアドバイスをいただきながら進めていきたい。



※会議開始前に『蒲郡市民の歌』を会場に流しました。

# イネーブリングシティウォーク に関する報告

## ・事務局より

今年度、計3回実施したが、今後は集まったデータをもとに蒲郡市のイネーブリングファクターについて、事務局及び横浜市立大学で検証していく。また、イベントという形での投稿データではなく、アプリを普段の日常生活でも使用してもらい、一定の期間、アプリで投稿してもらう“調査員（仮）”を集め、広くデータ収集していくことを検討している。

さらに、地図上に happy&healthy をプロットしていくだけでなく立体的な建物内でのウォーキングについても検討するため、蒲郡市役所内のイネーブリングファクター探しのために市役所での実施に向け調整している。



## ■実施回数 3回

### ■内訳（人数・投稿数）

|           |          |        |          |
|-----------|----------|--------|----------|
| 第1回目（5月）  | 市役所職員    | 40名    | 約 350投稿  |
| 第2回目（9月）  | 健康の道（形原） | 80名    | 約 440投稿  |
| 第3回目（11月） | 北部エリア    | 65名    | 約 470投稿  |
|           |          | 延べ185名 | 約1,260投稿 |

### ■今後

- ・日常生活でイネーブリングウォークを実施予定（調査員）
- ・市役所庁舎内のイネーブリングウォークを実施予定



## 第2回：令和6年9月26日

### 健康の道（あさやけコース）（形原）

健康の道（あさやけコース）でのイネーブリングシティウォークでは市民および民間企業の方にご参加していただいた。

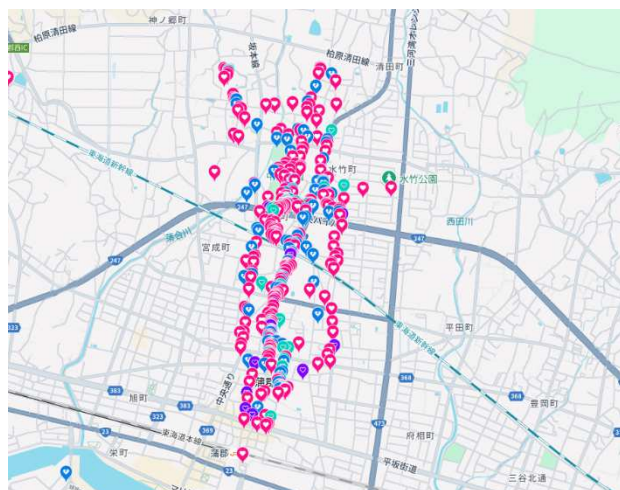
### ◆蒲郡市 HP 参照

[https://www.city.gamagori.lg.jp/unit/well/enabling\\_walk-2.html](https://www.city.gamagori.lg.jp/unit/well/enabling_walk-2.html)

## 第3回：令和6年11月4日 北部エリア

### 生きがいセンターから安楽寺方面

健康づくり一緒にやろまい会と一緒に企画した。祝日ということもあり、多くの市民に参加があった。アプリケーションに関するご意見や、現状の取り組みについて直接のお問い合わせもあり、今以上に分かりやすく取り組みをお伝えしていく必要性があることを共有した。





# 作業部会に関する報告

開催月日：令和6年9月27日

参加課：①建築住宅課、②土木管理課、③環境清掃課、④観光まちづくり課、⑤産業政策課

⑥シティーセールス推進室、⑦交通防犯課、⑧健康推進課、⑨企画政策課、⑩ウェルビーイング推進課

検討内容：ベンチに関する協議

具体的な取り組みを始めるような段階ではないが、ただベンチを置くという取り組みでなく、その場人が集まるような点と点をつなぐシンボルになることや、ベンチを置いた場所自体を人が集まるような場所にしていく中で、今回のベンチを活用していくという考えや、設置場所として空き家の利活用をすることや、ベンチの素材自体を廃材や、クリーンセンターに持ち込まれるゴミとなった椅子などを使用することなどが話し合われたことが報告された。また維持管理も含めベンチ設置までのストーリー作りを、行政側だけでなく、周辺住民と一緒に考えて考える必要性について議論されたことについて報告された。

## 講話「コミュニケーション・対話」について

講師：横浜市立大学 西井正造助教

内容：様々な文献や、西井先生自身の研究を踏まえ、コミュニケーション・対話の重要性について、以下の項目についてディスカッションに入る前にお話いただいた。

YCU CDC

横浜市立大学 先端医科学研究センター  
コミュニケーション・デザイン・センター  
助教：西井 正造

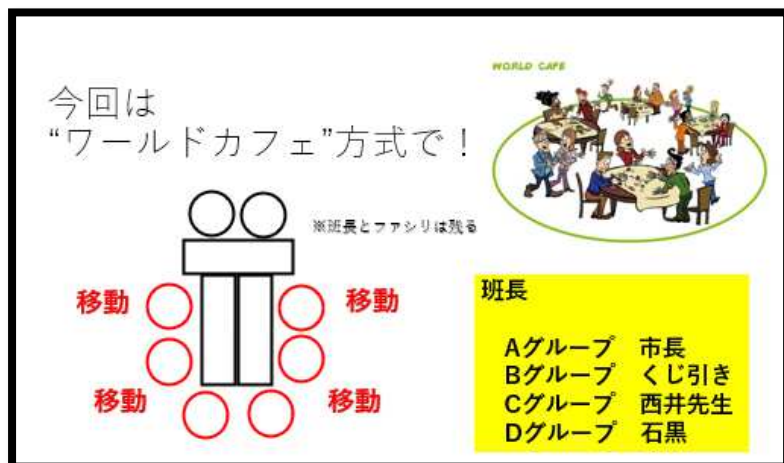
- 1 幸せなリモートワークのための4箇条
- 2 組織にはコミュニティとしてフラットな関係性が必要
- 3 対話は単なる情報交換ではない
- 4 「雑談」「対話」をしようと思っているのに、「議論」「交渉」「報告」っぽくなることを防ぐためのポイント

最後に実際のイネーブリングシティウォークを通じて、蒲郡市のまちの価値を向上させるための仕組みを全庁的な取り組みとして構築するときに「対話」しながら、ときには雑談も交えて新しい課題への対処法を一緒に考えていきたいと思いますという提案をいただいた。

## ディスカッション：ワールドカフェ方式

4つの班にわかれ、与えられたテーマでディスカッションをする。

班長とファシリテーターは席を移動せず、その他のメンバーは移動しながら、ファシリテーターから、前回の話し合いがどのように行われたかについて説明し、次の話し合いにつなげていくという方式で実施した。



※移動の際には『観光蒲郡の歌』を流しました。



まず、はじめにブレインストーミングとして最近感じた Happy・Healthy・Unhappy・Unhealthy を思い出してもらい、またなぜその様に感じたのかを付箋に書いてシートに張りながらグループで共有してもらいました。次にグループを移動してもらい付箋に書かれた Happy & Healthy を増やし、Unhappy & Unhealthy を減らすにはどうしたらよいかを考えてもらいました。

次に、蒲郡市の Happy・Healthy・Unhappy・Unhealthy と思われるものを付箋に書いてシートに張ってもらい、また移動後に書かれた付箋に基づき Happy & Healthy を増やし、Unhappy & Unhealthy を減らすにはどうしたらよいかを考えてもらいました。

はじめは緊張感もあり、なかなか活発な意見交換とはいきませんでした。回を重ねるごとに、本部長（市長）が冒頭あいさつで話された様な“リラックスしつつ活発な意見交換”が行われていました。



各テーブルについたファシリテーターから、どのような議論がされたのかについて発表してもらい、最後に横浜市立大学西井助教と本部長（市長）に講評をいただきました。



#### ◆西井助教 講評

みなさんありがとうございました。皆さんもまちってこうだよねと思っていることがあるかと思いますが、今それを多く集めるためにイネーブリングシティウォークで写真と言葉でデータをcollectしています。そのデータ分析の途中経過を言うと蒲郡市内には多くの神社仏閣という宗教施設が多く点在しています。他の7つの都市（仙台や、横浜など）と比較してもその神社仏閣に対し良い評価をしている特徴がある。また、大きな通りではなく、少し入った脇道にエモーションを感じているのか、評価が高い傾向がある。大がかりのものを何かしなくても、今あるものを知ってもらおうというだけで happy&healthy を増やすというまちのポテンシャルがあるのではないかということデータを抽出することができればというのが途中経過です。今日このディスカッションで話したことや、蒲郡のなかでも人が集まっている場所の特徴の分析ができればと思っているし、施策も活きてくるかと思っている。今日は皆さんと様々な意見交換ができてよかったです。



#### ◆本部長（市長）講評

2時間という中で有意義なディスカッションができた。この部長という立場の皆さんが和気あいあいと、またこの良い環境の中で話すというのは私が市長になり5年経過しましたが始めてだと思う。会議形式で顔を合わせることはあったが、ワークショップ形式で顔を合わせることは今までなかった。

また、西井先生のお話の通り愛知県は寺社仏閣が多い。その評価が高いというのは単純に建物の数だけでなくそのまちでの評価高いもの（建造物）が、まちの強みになるというのは大変興味深い。

今回のディスカッションで感じたのは、それぞれの班の紙を見ても happy については多く付箋が貼られているが healthy について付箋が少ない。これが今の蒲郡の特徴であり、改善すべきところだと私は感じている。Happy と unhappy の観点はあるが healthy という観点が今までは欠けていたのではないかとことを今回のディスカッションでも感じている。今後いかに healthy に変えていくという施策を考えていくことが蒲郡市のイネーブリングシティの実現になるという良いヒントを得た。

会場の雰囲気だけでなく、それぞれのファシリテーターが場を盛り上げ、上手に誘導してくれたことでよく理解ができた。良い時間であった。

## 私のイネーブリングシティ

### 宣言書

最後に今回参加いただいた方皆さんに『私のイネーブリングシティ宣言書』を記入いただき。集合写真を撮影しました。

宣言書については、皆さんにお持ち帰りいただきました。

### 私のイネーブリングシティ宣言書



を今後取り組むことを宣言します！！

令和 年 月 日

所属： \_\_\_\_\_

氏名： \_\_\_\_\_

